

# 地震保険・住宅に関する統計データ(茨城県)

## 地震保険地方(市、区等)別付帯率 2016年度

地方別	付帯率[%]	地方別	付帯率[%]	地方別	付帯率[%]
茨城県	61.9	筑西市	59.8		
水戸市	59.1	坂東市	57.2		
日立市	53.8	稲敷市	67.1		
土浦市	58.0	かすみがうら市	55.9		
古河市	61.5	桜川市	61.3		
石岡市	59.4	神栖市	62.0		
結城市	56.9	行方市	65.3		
龍ヶ崎市	70.4	鉾田市	57.9		
下妻市	54.1	つくばみらい市	58.4		
常総市	54.4	小美玉市	61.3		
常陸太田市	64.6	郡部	62.7		
高萩市	59.9				
北茨城市	65.7				
笠間市	60.4				
取手市	67.0				
牛久市	59.7				
つくば市	59.1				
ひたちなか市	64.8				
鹿嶋市	55.5				
潮来市	67.0				
守谷市	61.8				
常陸大宮市	64.4				
那珂市	65.1	全国計	62.1		

(注)「付帯率」は、当該年度中に契約された火災保険契約(住宅物件)に地震保険契約が付帯されている割合をいいます。

出典：損害保険料率算出機構

(注2)全国および都道府県の数値は2016年度、市・区別の数値は2015年度のものです。

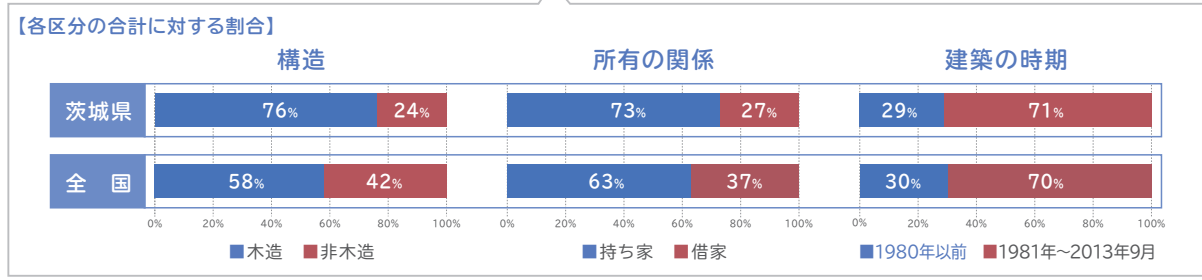
## 地震保険 都道府県別保有契約数推移

保有契約件数	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	
	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(対前年比)
茨城県	292,873	314,624	328,277	340,224	354,137	104.1%
全国	15,050,169	15,838,144	16,489,482	16,941,425	17,712,801	104.6%

出典：損害保険料率算出機構

## 都道府県別住宅統計、住宅の耐震化率

地域名	2016年世帯数	総住宅数	構造		所有の関係		建築の時期	
			木造	非木造	持ち家	借家	1980年以前	1981年~2013年9月
茨城県	1,221,978	1,268,200	817,800	258,300	767,700	287,800	291,800	728,100
全国	57,477,037	60,628,600	30,108,300	21,993,800	32,165,800	18,518,900	14,190,700	33,798,600



出典：2013年住宅・土地統計調査(総務省統計局)  
住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(2016年1月1日現在)(総務省統計局)

住宅の耐震化率	
茨城県	75%
全国	82%

※都道府県の耐震化率の年次は2008年または2008年度末(2008年住宅・土地統計調査をもとに国土交通省にて推計)。  
※全国の耐震化率は2013年の推計値

出典：国土交通省HP

**【建物の耐震性能について】**  
建築基準法に基づく現行の耐震基準は、1981年6月1日に導入されました。阪神・淡路大震災では、1981年以前に建てられた建物に、大きな倒壊被害が発生しました。古い建物にお住まいの方は、建物が耐震基準を満たしていないケースがありますので、注意が必要です。「地震危険に関する消費者意識調査(損害保険料率算出機構 2015年3月)」によると、大地震が起きた場合の住居被害の可能性について、「ほとんど被害がないと思う」と回答した地震保険未加入者の45.7%が、「耐震性が充分高いこと」を理由に挙げています。しかし、平成28年熊本地震では、耐震基準を満たした建物でも大きく損壊したケースがあります。また、建物が無事でも家財には大きな損害が発生する可能性があります。新しい建物でも油断は禁物です。

**【地震発生の可能性に対する意識】**  
「地震危険に関する消費者意識調査(損害保険料率算出機構 2015年3月)」によると、「近い将来、あなたが住んでいる地域で大地震が起こると思うか」という質問に対し、**茨城県では87.6%の方が「起こると思う」**または「もしかしたら起こると思う」と回答しています。巨大地震は日本全国どこでも発生する可能性があります。2016年は、それまで巨大地震が発生するとはあまり思われていなかった熊本で、震度7以上の大きな揺れに見舞われました。これまで地震が起きなかったからといって、今後も地震が起きない、あるいは起きたとしても大きな地震にはならないという保証はありません。